

分析研究課題の募集：EASS 2008

1. 募集の目的

JGSS 研究センターでは、社会科学諸分野の研究者が温めている研究課題を募集し、それぞれの研究課題を集約した全国調査および国際比較調査を実施しています。今回募集するのは、EASS 2008 (East Asian Social Survey 2008) の分析に関する研究課題です。EASS 2008 は、韓国・台湾・中国の研究機関と共同で実施した比較調査で、「東アジアの文化とグローバリゼーション」をテーマとしています。

本センターでは分析研究を公募することにより、調査データの活用を促進し、実証的な社会研究の発展を目指しています。比較調査の二次分析には困難が伴います。優れた分析案をご提案いただければ、分析の進行をサポートするとともに、研究成果の報告のための旅費等を支援します。ふるってご応募ください。

2. EASS 2008 「東アジアの文化とグローバリゼーション」の概要

EASS 2008 は、それぞれの国・地域における以下の全国調査に共通の設問モジュールを挿入することで比較データを収集しています。

	日本	韓国	台湾	中国
実施調査名	Japanese General Social Surveys	Korean General Social Survey	Taiwan Social Change Survey	Chinese General Social Survey
実施時期	2008年10～12月	2008年6～8月	2008年7～9月	2008年9～12月
調査方法	面接・留置法の併用	面接法	面接法	面接法
調査対象	20～89歳の男女	18歳以上の男女	18歳以上の男女	18歳以上の男女
抽出方法	層化2段無作為抽出	層化3段無作為抽出	層化3段無作為抽出	層化4段無作為抽出
計画標本	4,003	2,500	4,601	6,300
有効回答数	2,160	1,508	2,067	3,010

調査票をよく確認し「EASS 2008 関連研究一覧」(本募集用紙の別頁)を参照した上で、未開拓の分析計画をご提案ください。

EASS 2008 は、主に以下の調査トピックを含んでいます。

- ・ 価値観 (伝統家族規範・調和重視・集団主義・権威主義・不確実性の回避)
- ・ 文化行動
- ・ 伝統的な迷信行動
- ・ 友人に求める特長
- ・ 地域的なアイデンティティ
- ・ 娯楽活動
- ・ メディア利用
- ・ 他の国/地域との接触
- ・ 他の国/地域との社会的距離
- ・ 移民への意見
- ・ グローバリゼーションへの態度と評価
- ・ 社会ネットワーク
- ・ 英語の利用
- ・ 基本属性 (本人と配偶者の年齢・学歴・職業・収入、世帯収入、宗教、階層意識、居住地の人口規模)

3. 応募資格

大学その他の研究機関の研究者、または大学院生 (分野は問いません)

4. 応募方法

応募用紙に、氏名等、研究課題、想定する分析のモデル、研究に関連する参照文献、JGSS データの利用経験、これまでの社会調査の経験を明記して、下記の JGSS 研究センターまで、メールに添付して提出して下さい。説明のために別紙を追加していただいてもかまいません。

5. 受付期限及び提出先

■ 受付期間：2010年2～8月まで、毎月25日締切で審査

(第1回締切2010年2月25日、第2回締切2010年3月25日、……)

■ 提出先：〒577-8505 大阪府東大阪市御厨栄町4-1-10 大阪商業大学 JGSS 研究センター

E-mail: jgss@daishodai.ac.jp

6. 選考方法と発表

JGSS 研究センターの運営委員会において審査を行います。審査結果は、各締切日の翌月15日までに応募者全員にお知らせします。

7. 採択者の義務および JGSS 研究センターからのサポート

- JGSS 研究センターの共同研究者として、嘱託研究員（無給）になっていただく必要があります（大学院生の場合は、JGSS 調査研究奨励プログラムの参加者となります）。
- センターで開催する研究会に参加いただき、分析の経過をご報告ください（旅費支給）。
- 電子メールおよび研究会での情報共有や議論を通して、分析を進めるためのサポートを受けられます。
- 学会等で研究成果を報告する際に、旅費の支給を受けられます（予算制限内で海外報告を含む）。
- センターの施設・設備が利用できます。
- 最初の成果は、2011 年 3 月に刊行予定の『JGSS 研究論文集』（2011 年 1 月原稿締切）にご執筆ください。論文集刊行までの間は、研究成果の発表は学会大会等での口頭報告に限り、他の雑誌等に当該研究課題の成果論文を掲載することはできません。

お問い合わせ：大阪商業大学 JGSS 研究センター（できるだけ電子メールにてお問い合わせ下さい）

Tel : 06-6785-6013 / Fax : 06-6785-6011

<http://jgss.daishodai.ac.jp>

E-mail : jgss@daishodai.ac.jp

EASS 2008 関連研究一覧（2010 年 1 月現在）

論文

- 榎木美樹, 2008, 「EASS 2008 Culture Module の作成—JGSS によるプリテストの結果を中心に—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.195-232.
- 小磯 かをる, 2010, 「情意要因が英語の読解力と会話力に及ぼす影響: JGSS-2008 のデータから」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[10]』（2010 年 3 月刊行予定）.
- 湊邦生, 2007, 「東アジアにおける国際比較社会調査とその課題—世界価値観調査、ISSP、アジア・バロメーター、東アジア価値観国際比較調査から EASS へ—」大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.3: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[6] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.1-23.
- MINATO, Kunio, 2008, “Cross-national Social Survey in East Asia : World Values Survey, ISSP, AsiaBarometer, Asian Barometer, East Asia Value Survey and EASS” 大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所編『JGSS Research Series No.4 日本版 General Social Surveys 研究論文集[7] JGSS で見た日本人の意識と行動』pp.159-193.
- 永吉希久子, 2010, 「多文化状況における社会統合に対する信頼感の影響: JGSS-2008 の分析から」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[10]』（2010 年 3 月刊行予定）.
- 直井恵, 2010, 「Why Lower-Income Citizens Are Protectionist Consumers: A Research Note on JGSS-2008」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[10]』（2010 年 3 月刊行予定）.
- 孫郁雯, 2010, 「日本アニメ視聴者の国際比較分析: JGSS-2008 と TSCS-2008 のデータを用いて」大阪商業大学 JGSS 研究センター編『JGSS Research Series No.7: 日本版 General Social Surveys 研究論文集[10]』（2010 年 3 月刊行予定）.

報告要旨

- BIAN, Yanjie (邊燕杰), and LI, Lulu (李路路), 2007, “CGSS Pretest Results of 2008 EASS Globalization Module” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』pp.139-141.
- 張晉芬 (CHANG, Chin-fen)・張翰璧 (CHANG, Han-pi), 2009, 「台湾人的多元文化觀與實踐 (Multiculturalism in Taiwan: From Concept to Practice)」『台灣社會變遷基本調查第十四次研討會暨 2009 東亞社會調查研討會 會議論文集 (Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium)』（11 月 18 日, 中央研究院社會學研究所, 台北）.
- CHANG, Chin-fen(張晉芬), and CHEN, Mei-hua (陳美華), 2009, “Sex Tourism by Taiwanese: Where Did They Go and Who Are They?,” Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology,

Academia Sinica, Taipei.

- CHEN, Wan-chi(陳婉琪), and LIN, Kuei-hsiu (林桂綉) , 2009, “How Education Matters for Happiness?: Commonalities across Three East Asian Countries,” Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- ENOKI, Miki and IWAI, Noriko, 2007, “Pretest Results of EASS 2008 Culture Module and Proposed Changes by JGSS” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.115-132.
- IWAI, Noriko, 2009, “Values across China, Japan, South Korea and Taiwan,” presented at The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- KIM, Sang-Wook and KOH, Chi-Young, 2007, “KGSS Comments on EASS 2008 Questionnaire” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.133-137.
- MINATO, Kunio, 2006, “Cross-National Social Surveys in East Asia: AsiaBarometer, East Asia Value Survey, ISSP, World Values Survey, and East Asian Social Surveys,” EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.
- MINATO, Kunio, 2008, “Cross-national Social Surveys in East Asia: World Values Survey, ISSP, AsiaBarometer, Asian Barometer, East Asia Value Survey and EASS” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS SYMPOSIUM 2008 報告書—Development of East Asian Social Surveys: Results of EASS 2006 Family Module』 pp.65-82.
- MINATO, Kunio, 2009, “Cross-cultural Contact and Attitude Toward Foreign Culture of the Japanese Seen from JGSS-2008” 『第82回日本社会学会大会報告要旨集』 p.311.
- 村田千代栄・埴淵知哉・中谷友樹・尾島俊之・早坂信哉・野田龍也, 2009, 「東アジアにおける主観的健康感の性差 日本・韓国・中国・台湾の比較」『日本公衆衛生学会総会抄録集』 p.506.
- PARK, Jaehyun, and KIM, Seokho, 2009, “Perception of and Attitude towards Globalization: A Comparative Study on China, Japan, South Korea, and Taiwan,” Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- 蘇碩斌 (SU, Shuo-bing), 2009, 「日常生活的全球化：論人際信任與系統信任 (Cultural Globalization of Everyday Life: Personal Trust and Systematic Trust)」『台灣社會變遷基本調查第十四次研討會暨 2009 東亞社會調查研討會 會議論文集 (Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium)』 (11 月 18 日, 中央研究院社會學研究所, 台北) .
- TSAI, Ming-chang(蔡明璋), 2009, “Transnational Travels and Acquaintances in Four East Asian Societies,” Proceedings of The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- TSAI, Ming-chang (蔡明璋) , and CHANG, Chin-fen(張晉芬), 2007, “Pretest Results of Taiwan Social Change Survey, the Fourth Phase of Fifth Wave: Using East Asian Social Survey (2008 Culture Module) Questionnaire” 大阪商業大学比較地域研究所編『JGSS Colloquium 2007 報告書—東アジアの家族—』 pp.107-114.
- WANG, Weidong(王衛東), 2009, “The Social Distance between East Asian Societies,” presented at The 14th TSCS Conference and 2009 EASS Symposium, November 18, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei.
- XIE, Guihua (謝桂華) , 2006, “Review of the Studies of Globalization’s Impact on Value in China,” EASS Conference 2006, Institute of Sociology, Academia Sinica, Taipei, Taiwan.

分析研究課題の募集:EASS 2008 応募用紙

A4版で以下の各項目が網羅されていれば、枠にはこだわらなくても構いません。また、必要に応じ、枚数が増えても結構です。
応募用紙は、メール添付にて送付ください。(宛て先:jgss@daishodai.ac.jp)

氏名：	所属・職/学年：
連絡先住所：	
電話：	E-mail：
所属学会：	

研究課題 (タイトル)
想定する分析モデル (分析に必要な変数を明記)
参考文献
JGSS データの利用経験 (EASS データを含む)
これまでの社会調査の経験